下関 PR

本物を本物の場所で体験

食に、歴史に、文化に、遊び!体験できる下関

全国の観光地に賑わいが復活する中、下関市では2024年のキャンペーンテーマを、2021年に成果を上げた続編として「食に、歴史に、文化に、遊び!体験できる下関!!Ver2」とした。具体的には、観光庁の「2023年度インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」に採択された昨年特集掲載の「世界に1本だけのSAKE造り」「和菓子作り体験」に加え新たに「平家の武将、官女、武蔵・小次郎　着付け体験」「ふく食文化と先帝祭太夫所作体験」を加え、これまで以上にブラッシュアップし、「FUN!SHIMONOSEKI」と名付けた歴史体験プログラムとして商品化。さらに注目を集めるリゾート型ドローン体験をPR。順調に集客が進む「三つの日本一　ふく、くじら、あんこう」関連では、新しいスタイルのふく食体験、鯨食体験も紹介している。

ふく旅庵 下商会館

受け継がれる芸術的なふく食と祭の文化に触れる

ふく食と先帝祭太夫所作体験

しものせき海峡まつり期間の5月3日に、源平壇ノ浦の合戦で滅びた平家一門を偲ぶ豪華絢爛な先帝祭が行われている。クライマックスの上臈道中で使用される太夫の豪華衣装を模した簡易的な打掛衣裳を羽織り、特製の高下駄で外八文字の足さばきを体験できる。

会場は、ふく（下関ではふぐをふくと呼ぶ）の本場下関で、70年以上に渡り伝統の味と技を高め続けている老舗ふく料理店「ふく旅庵下商会館」。中でも、「牡丹盛り」発祥店として有名。接待に利用される高級店で昭和初期の木造建築が格式高い雰囲気を醸し出し、和とモダンな客室がある、庭も人気があり、桜や紅葉など、四季折々の庭を楽しめる。

ふく旅庵下商会館の女将は日本舞踊の名取りで親子孫三代に渡って太夫役経験者。女将直伝の外八文字の足さばきなどの所作を手解きしてもらえる。

伝統のふく刺しは、芸術作品同店発祥の「牡丹盛り」「鶴盛り」や「孔雀盛り」など、代々受け継がれた伝統の技術を体感できる。

期間は通年。体験料金（税込）は1名3千円、2名5千円、3名以上6千円、以降1名に付き+1千円（税込・サービス料込）。一度に多くの利用は不可。ふく料理代とサービス料は別途、先帝祭太夫所作体験のみは不可。所要時間はおよそ2時間。※料理コース内容による。ふく料理コース最少催行人数は2名。個人客、小グループ、団体客の一部が体験に参加する想定で、応相談、定員は25名。4日前までの予約が必要。

営業時間は11時30分～14時30分、17時～20時30分。ラストオーダーは各30分前、入店時間については相談可能、不定休となっている。

ふく旅庵下商会館

客室と庭

貸衣裳 千景店

歴史上の人物になりきって!歴史体感　下関

「平家の武将、官女、武蔵・小次郎　着付け体験」

関門海峡、赤間神宮のすぐ近くにある開業55年の老舗貸衣裳店「千景（ちかげ）店」。着付け文化の発展と継承のために留学生を対象としたイベントや地元の学校での講話、高等学校の依頼による卒業生の袴の着付けなど、精力的に活動を行っている。観光客の受け入れではクルーズ船の外国人観光客が赤間神宮に参拝に数多く訪れることから、外国語看板も用意し、和服や浴衣のレンタルを行っている。

下関はドラマや映画にたびたび登場するゆかりの地が多く、これまでさまざまな観光寸劇やミュージカル仕立ての特別シナリオを上演してきた。今回は観光客が衣装を身に付け、メイクを施し、カメラマンによる撮影（別途料金）もしてもらえる体験プログラム。衣装は平家の武将や官女、宮本武蔵、佐々木小次郎。スタジオ撮影や近くの赤間神宮での撮影が用意されている。平家の時代に合わせた甲冑は重量もあり本格的。

赤間神宮コースは約1時間で、着付け、メイク30分程度で、赤間神宮自由散策となる。持参のカメラで自由に撮影可能。武者の甲冑は、兜と衣装で総重量およそ20kgあるので注意が必要。

プロカメラマンとまわる!赤間神宮（約1時間）またはは、巌流島（約2時間）コースはプロカメラマンが同行して記念写真を撮る。撮影した画像データを受け取る。

期間は通年。当日雨天の場合は、店舗内での撮影となる。

料金（税込）は赤間神宮コース約1時間1名1万1千円、カメラマン付2万2千円。巌流島コース約2時間カメラマン付2万7500円。巌流島渡船料は別途必要。最少催行人数1名、定員4名。予約は2日前まで。

営業時間は9時～18時、定休日は日曜日、祝祭日。

ふく旅庵下商会館　満関善席

先帝祭　上臈道中

簡易的な打掛衣装を羽織る

先帝祭太夫所作体験　高下駄

平家の武将、官女イメージ

貸衣裳店「千景店」

平家武将　甲冑

武蔵と小次郎イメージ

「三つの日本一　ふく(取扱量)・くじら(陸揚量)・あんこう(水揚量)」新たな店舗が誕生

ふく小屋 下関 HATA

ふく小屋下関HATA

ふくの本場下関ふく食体験

1958年創業、日本最大のふく集積地である南風泊（はえどまり）市場とともに、「ふく一筋」で、ふく食文化の普及に取り組んでいる老舗ふく専門卸売問屋の畑水産が、ふく食を楽しめる施設「ふく小屋下関HATA」をオープン。ふく関係の事業者が集まる南風泊（はえどまり）市場エリアで、同社の生け簀に泳ぐ高級天然トラフグや、「ふく小屋下関HATA」内でトラフグの加工や調理（刺身を引く工程など）の様子を窓から見学。タイミングがあえば、通常の3倍はあるような5キロ以上の巨大天然トラフグも生け簀で見学できる。ふく料理もふくの種類の説明を受けながら、それぞれのふぐの特徴にあわせた料理がコースとして出される。とらふぐのふく刺しも付いているがメインは焼きふく。焼き肉スタイルで食べるもので、高級オリーブオイルを使用し、こだわりの付けダレにはすでに地元客のファンもいるとのこと。チキン南蛮風のふくも珍しいメニューで家族連れに好評なオリジナルメニュー。ランチ営業にこだわっており、夜に他の店で本格的なふくのフルコースを食べても味わいが被らないようにしている。リクエストで2枚入りの特別なひれ酒も出してもらえる。

最少催行人数8名、最大定員40名。コースメニューのみで1名税込6600円（煮凝り、とらふぐのふく刺し、焼きふく、ふく唐揚げ、ふく雑炊など）。営業期間は3～11月（12月は不可で、それ以外は要相談）。営業時間10時～15時。予約は3日前まで。

焼きふく

巨大天然トラフグ

生け簀に泳ぐ高級天然トラフグ

ふく小屋下関HATA

鯨料理の日新丸

日本初の国産捕鯨母船「日新丸」から公認のうえ引き継ぐ

下関鯨屋　日新丸

下関でふくの通販、ふくのギフトを全国に展開し、ふく料理店「関とら本店」を運営する藤フーズの新しいくじら料理店。店名は近代捕鯨発祥の地と言われる下関の捕鯨の伝統や、下関の鯨食文化をもっと広めていきたいという想いから、操業36年を迎え2023年11月に引退した日本初の国産捕鯨母船「日新丸」より公認のうえ引き継いだもの。

「下関鯨屋　日新丸」のこだわりは大量の小魚を食べる鯨の増加を捕鯨や鯨食により抑制することは海の生態系のバランスを守り、SDGsへの貢献にも繋がると考えている。高級食材の尾の身や鹿の子、さえずりを割安で提供。ピンクに染色しない深い味わいの鯨ベーコンなどグルメ志向の本格的なくじら料理を楽しめる店。道場六三郎氏に師事した料理長のもと、厳選された鯨肉を熟練の技で調理。イワシ鯨、ナガス鯨、ニタリ鯨、ミンク鯨といったヒゲ鯨の様々な部位を提供している。新しい調理法も積極的に取り入れ人気のカフェやバルのようなメニューも用意。質の良い鯨の赤肉を低温調理した後に、炭火で焼き上げるローストホエール炭火焼き、赤身肉のアボカドユッケなどがある。ユニークなメニューとしては鯨骨らぁめん、日新丸カレーがある。営業時間は、昼11時～14時（ラストオーダーは13時30分）。夜17時30～22時（ラストオーダーは21時）日曜日の夜営業は無し。定休日は水曜日。

下関鯨屋 日新丸 ローストホエール炭火焼き

下関鯨屋 日新丸 くじらの高級部位

X-Culture Magazzino ドローン体験と超絶景カフェ

地域密着!下関から世界に繋がる複合施設「X—Culture Magazzino（クロスカルチャーマガジーノ）」

ドローン体験と超絶景海辺カフェ

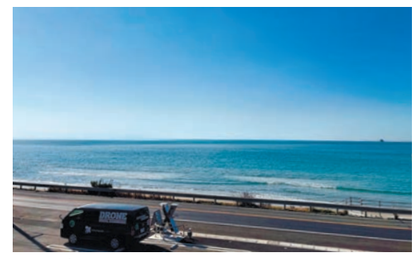
角島観光等で利用されるR191沿いに位置する最新スポットのドローンスクールやカフェ、カルチャーセンターなどを備えた複合施設「X—Culture Magazzino（クロスカルチャーマガジーノ）」。美しい海を見ながら過ごせるカフェがあり、カフェの2階席からは山陰線のトレインビューも楽しめる。ドローンスクールでは、気軽なドローン体験から、本格的な撮影から編集まで学べる。角島ツーリングの途中休憩スポットとしても有名。吉見駅、新下関駅までの送迎あり。

全天候型の屋内ドローン練習場に加え、屋外の広い敷地、さらには砂浜でもドローンが飛ばせる恵まれた好立地。

国家資格取得のために福岡や広島からドローンスクールに通う利用者もいるほど。3日と短期間で習得できることから、企業利用やワーケーションの目的としてもおすすめ。会社員の場合は厚生労働省の補助制度を利用できる。カフェは、オーナーが食品商社を営んでおり、イタリア直輸入のチーズやオリーブオイルをふんだんに使用したピザやパスタを割安で提供。地元客の利用も多い。珍しい缶入りワインも販売している。地域密着イベントからオンラインで世界と繋がるイベントまで開催、毎月第3土曜日8時から10時まではXCMファーマーズマーケットを開催。下関の生産者が集まり、美味しいものや楽しいことを提供するイベントでフラダンスショーも上演される。R191を通るバイカーやサイクリストの利用も多い。

営業時間は10時～21時。カフェは10時～18時。定休日はドローンスクール、カフェ共に木曜日（但し祝日の場合はオープン）、年末年始。

体験料金（税込）は3850円／人で、ドローン簡易体験（ピザランチ+ドリンク付）。ドローン体験は約20分、食事タイム約1時間。最少催行人数は1名。定員は15名で、要予約。


テラス席からの景色

トレインビュー

ドローンスクール内

しものせき観光キャンペーン実行委員会
下関市観光政策課
山口県下関市南部町1－1
TEL：083－227－3305
http://shimonoseki.travel

一般社団法人 下関観光コンベンション協会
山口県下関市豊前田町3丁目3－1
海峡メッセ下関
TEL：083－223－1144
https://www.stca-kanko.or.jp